

# 資料編

1. 再配置計画策定及び改定の経過
2. 市民アンケート結果
3. 用語解説

## 1. 再配置計画策定及び改定の経過

### 【策定の経過】

	日 程	内 容
平成 28 年	5月16日(月)	公共施設再配置計画策定に係る施設コスト調査
	5月27日(金)	平成28年度 第1回 公共施設等総合管理計画策定委員会 ※1
		議題
	7月	再配置計画策定に係る市民アンケート調査
		実施期間…平成28年7月12日～平成28年9月12日
	8月	公共施設等総合管理計画の庁内周知研修
	10月21日(金)	平成28年度 第2回 公共施設等総合管理計画策定委員会 【公共施設等総合管理計画プロジェクト※2 会議と同時開催】
議題		・アンケート結果の報告について ・施設の現状評価について
11月18日(金)	若松地区公共施設再整備検討会議	
平成 29 年	2月23日(木)	平成28年度 第3回 公共施設等総合管理計画策定委員会
		議題
	3月	若松地区公共施設再整備に関する庁内アンケート調査
	8月22日(火)	平成29年度 第1回 公共施設等総合管理計画策定委員会 【公共施設等総合管理計画プロジェクト会議と同時開催】
		議題
	8月25日(金)	再配置計画における各施設の再配置方針(案)について各所属に対する意見照会
	8月28日(月)	第1回 若松地区公共施設再整備検討部会
	9月	公共施設の現状についての庁内研修
	10月6日(金)	再配置計画における各施設の2次評価及び再配置方針(案)について各所属に対する意見照会
	10月30日(月)	各所属に対する公共施設活用可能性調査
	11月16日(木)	平成29年度 第2回 公共施設等総合管理計画策定委員会 【公共施設等総合管理計画プロジェクト会議と同時開催】 (大阪府立大学 増田教授・近畿大学 久教授 出席)
議題		・再配置方針(案)について ・再配置方針に関する課題及び考慮すべき点について
12月	計画素案について各所属に対する内容確認照会	

平成 30 年	1月	パブリックコメント実施 実施期間…平成30年1月4日～平成30年1月30日
	1月30日(火)	第2回 若松地区公共施設再整備検討部会
	2月13日(火)	<b>平成29年度 第3回 公共施設等総合管理計画策定委員会</b> <b>【公共施設等総合管理計画プロジェクト会議と同時開催】</b> (大阪府立大学 増田教授・近畿大学 久教授 出席) 議題 …パブリックコメントの結果について
	3月	計画策定

## 【改定の経過】

令和5年 7月19日(水)	<b>令和5年度 第1回 公共施設等総合管理計画策定委員会</b> 議題 …富田林市公共施設再配置計画等改定業務について	
令和 6 年	3月	再配置計画改定に係る市民アンケート調査 実施期間…令和6年3月1日～令和6年4月30日
	6月4日(火)	公共施設再配置計画改定に係る施設コスト調査
	8月21、26日	有識者ヒアリング (近畿大学 久教授、大阪府立大学 増田名誉教授)
	9月27日(金)	<b>令和6年度 第1回 公共施設等総合管理計画策定委員会</b> 議題 …公共施設再配置計画(前期)の改定について
	10月2日(水)	一部改定に伴う公共施設分析・評価結果および再配置方針にかかる内容照会
	11月21日(木)	<b>令和6年度 第2回 公共施設等総合管理計画策定委員会</b> (大阪府立大学 増田名誉教授) 議題 …公共施設再配置計画(前期)改定素案について
令和 7 年	1月	パブリックコメント実施 実施期間…令和7年1月6日～令和7年2月7日
	2月21日(金)	<b>令和6年度 第3回 公共施設等総合管理計画策定委員会</b> 議題 …パブリックコメントの実施結果について
	3月	計画改定

※1 公共施設等総合管理計画策定委員会 … 富田林市公共施設等総合管理計画の策定にあたり、平成26年に設置された。総合管理計画及び再配置計画の進捗状況等に関する評価及び改定等について検討・協議するために設けられており、令和6年度は「富田林市公共施設等総合管理計画策定委員会設置要綱」に基づき10人の委員で構成される。

※2 公共施設等総合管理計画プロジェクト … 富田林市公共施設等総合管理計画を策定するため平成26年に期間を限定して設置されたプロジェクトチーム。本計画の策定においても役割を担った。

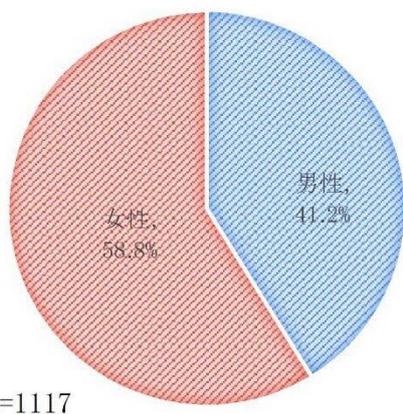
## 2. 市民アンケート結果

### ■アンケート実施概要

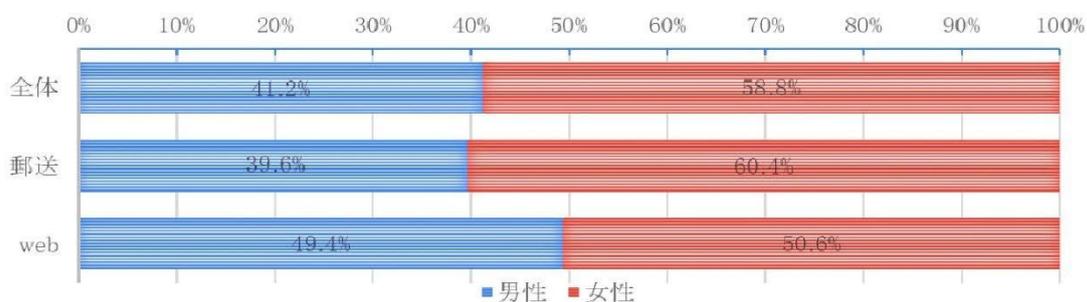
対象	富田林市内 18 歳以上を対象に 3,000 票配布
実施時期	令和 6 年 3 月 1 日発送 4 月 30 日回収締切 (5 月 7 日到着分までを集計対象とした)
実施方法	郵送、インターネットを利用した Web アンケート
回収状況	総回収数 1,129 票 回収率 37.6% (郵送 : 952 票、インターネット : 177 票)

回答の構成割合は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても100%とならない場合があります。

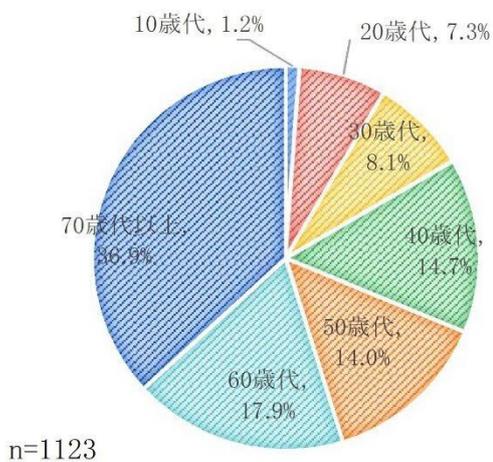
【問1】 性別



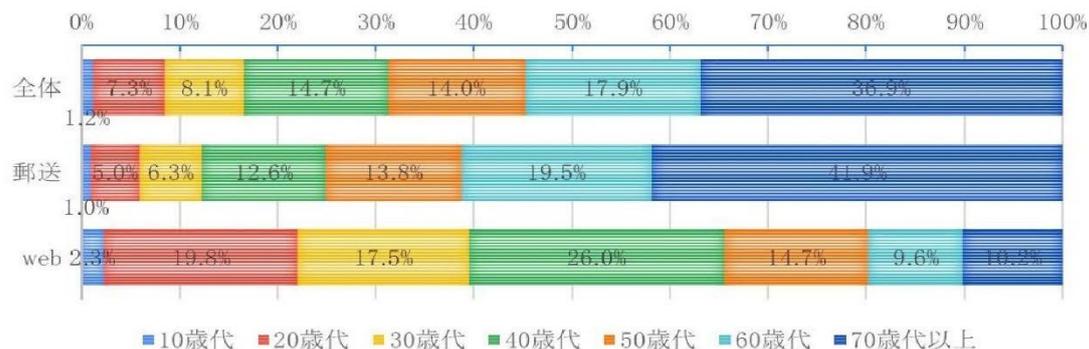
選択肢	回答数	割合
1 男性	460	41.2%
2 女性	657	58.8%
有効回答数	1,117	100.0%
無回答	12	-
合計	1,129	-



【問2】 年齢



選択肢	回答数	割合
1 10歳代	13	1.2%
2 20歳代	82	7.3%
3 30歳代	91	8.1%
4 40歳代	165	14.7%
5 50歳代	157	14.0%
6 60歳代	201	17.9%
7 70歳代以	414	36.9%
有効回答数	1,123	100.0%
無回答	6	-
合計	1,129	-

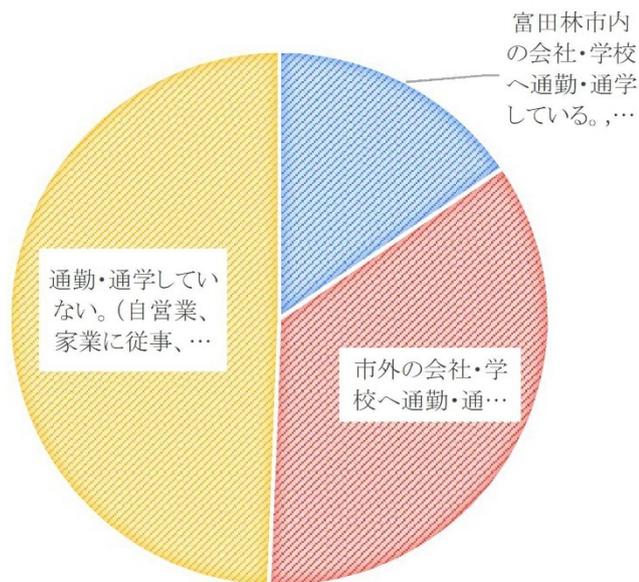


【問3】 あなたのお住まいの町名を教えてください。  
 (町名の回答を小学校区単位で集約)

小学校区	回答数	割合
富田林	73	6.5%
新堂	66	5.9%
喜志	75	6.7%
喜志西	69	6.2%
大伴	62	5.6%
東条	69	6.2%
彼方	73	6.5%
川西	59	5.3%

小学校区	回答数	割合
錦郡	68	6.1%
伏山台	84	7.5%
寺池台	53	4.7%
久野喜台	70	6.3%
高辺台	61	5.5%
藤沢台	67	6.0%
向陽台	65	5.8%
小金台	103	9.2%
有効回答数	1,117	100.0%
無回答	12	-
	1,129	-

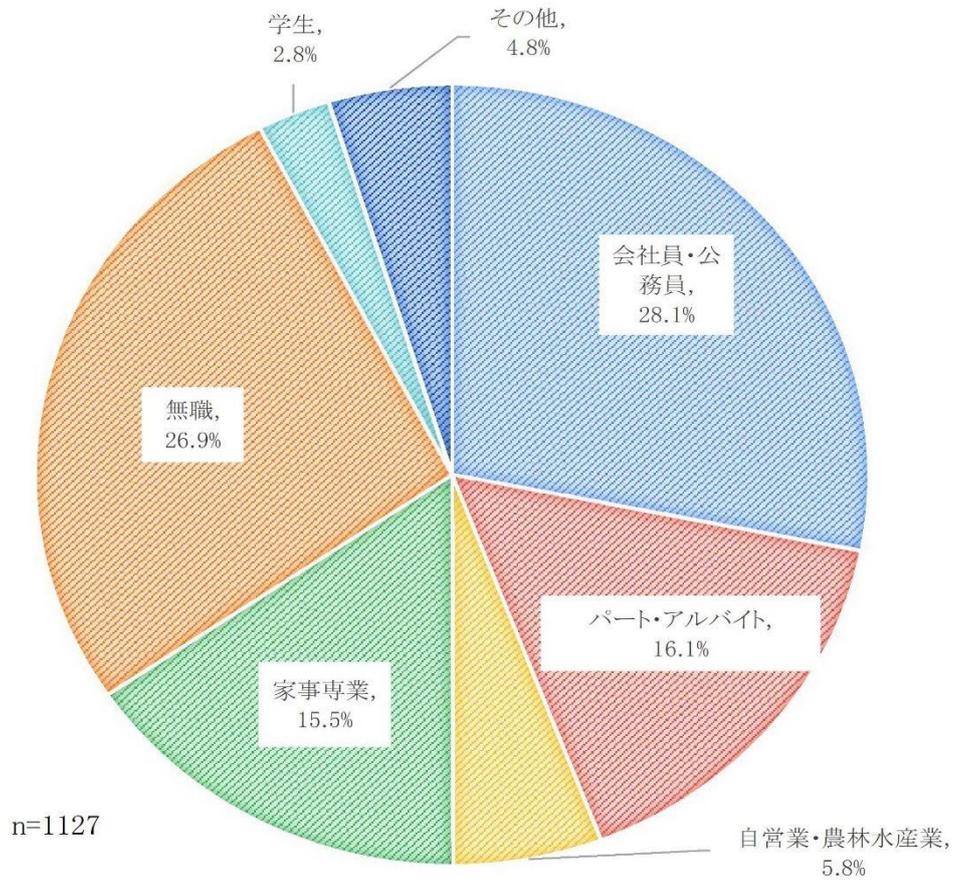
【問4】 通勤、通学先



n=1122

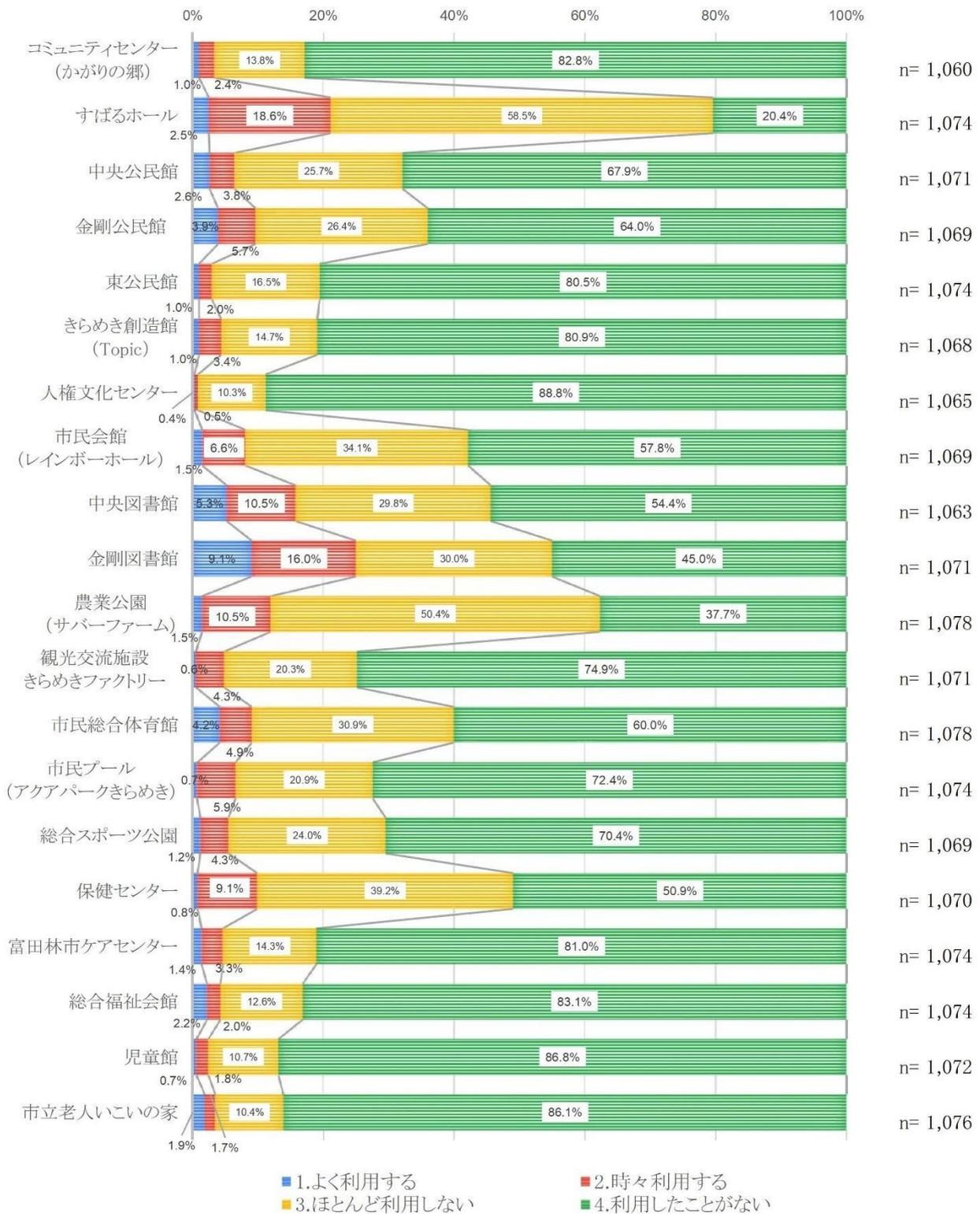
選択肢	回答数	割合
1 富田林市内の会社・学校へ通勤・通学している。	174	15.5%
2 市外の会社・学校へ通勤・通学している。	394	35.1%
3 通勤・通学していない。(自営業、家業に従事、家事専業、無職など)	554	49.4%
有効回答数	1,122	100.0%
無回答	7	-
合計	1,129	-

【問5】あなたのご職業を教えてください。



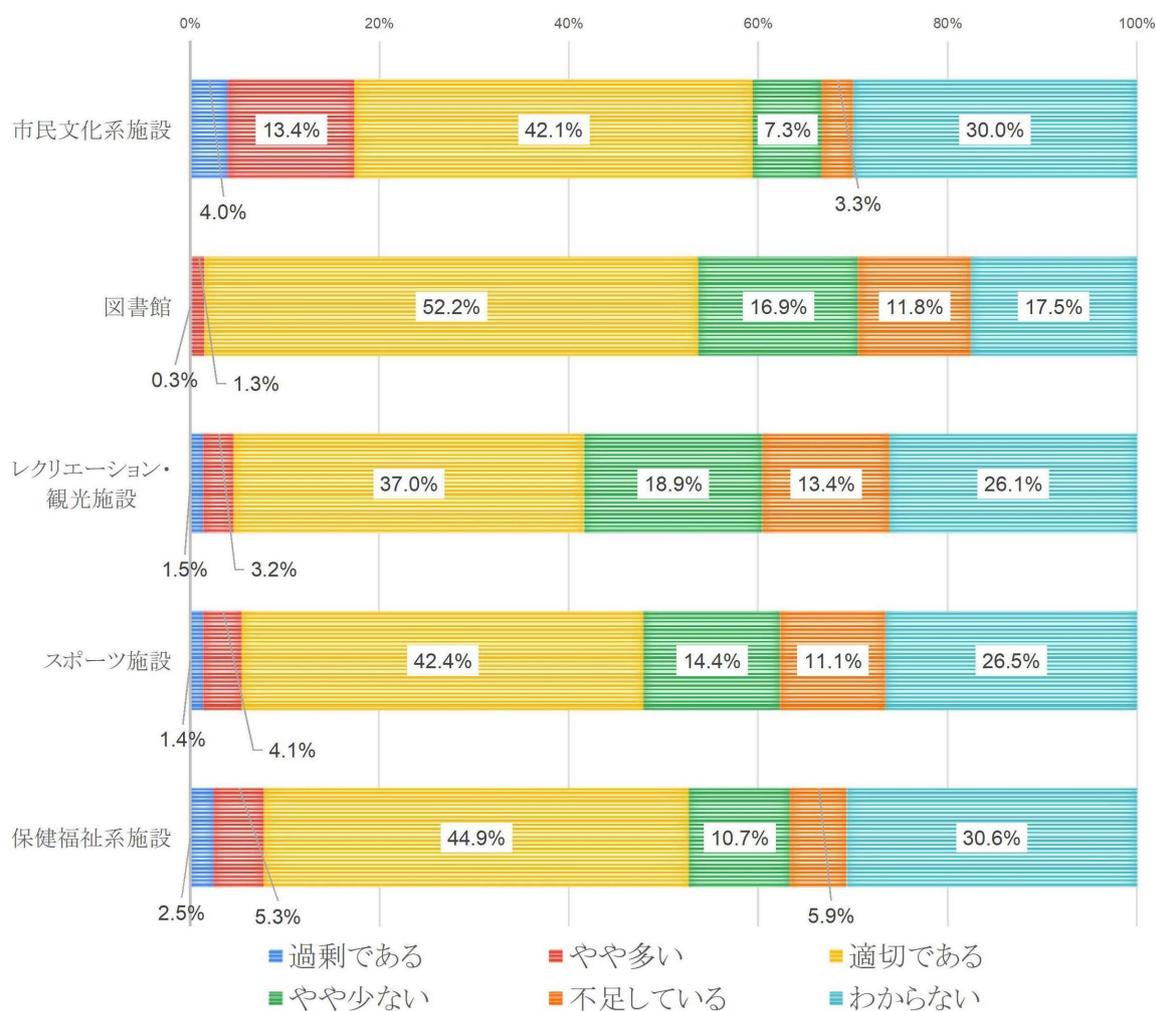
選択肢	回答数	割合
1 会社員・公務員	317	28.1%
2 パート・アルバイト	181	16.1%
3 自営業・農林水産業	65	5.8%
4 家事専業	175	15.5%
5 無職	303	26.9%
6 学生	32	2.8%
7 その他	54	4.8%
有効回答数	1,127	100.0%
無回答	2	-
合計	1,129	-

【問6】 あなた自身は、次の公共施設をどのくらい利用していますか。（家族等の送迎で訪れた回数は除きます。）



施設分類	施設名	よく利用する(月1回以上)		時々利用する(年3回以上)		ほとんど利用しない		利用したことがない		有効回答数	無回答	無効回答
		回数	割合	回数	割合	回数	割合	回数	割合			
市民文化系施設	コミュニティセンター(かがりの郷)	11	1.0%	25	2.4%	146	13.8%	878	82.8%	1060	69	0
	すばるホール	27	2.5%	200	18.6%	628	58.5%	219	20.4%	1074	55	0
	中央公民館	28	2.6%	41	3.8%	275	25.7%	727	67.9%	1071	58	0
	金剛公民館	42	3.9%	61	5.7%	282	26.4%	684	64.0%	1069	60	0
	東公民館	11	1.0%	21	2.0%	177	16.5%	865	80.5%	1074	55	0
	きらめき創造館(Topic)	11	1.0%	36	3.4%	157	14.7%	864	80.9%	1068	61	0
	人権文化センター	4	0.4%	5	0.5%	110	10.3%	946	88.8%	1065	64	0
	市民会館(レインボーホール)	16	1.5%	71	6.6%	364	34.1%	618	57.8%	1069	60	0
図書館	中央図書館	56	5.3%	112	10.5%	317	29.8%	578	54.4%	1063	66	0
	金剛図書館	97	9.1%	171	16.0%	321	30.0%	482	45.0%	1071	58	0
シレ 光 施 設 ・ エ 観 ↓	農業公園(サバーファーム)	16	1.5%	113	10.5%	543	50.4%	406	37.7%	1078	51	0
	観光交流施設 きらめきファクトリー	6	0.6%	46	4.3%	217	20.3%	802	74.9%	1071	58	0
ス ポ ー ツ 施 設	市民総合体育館	45	4.2%	53	4.9%	333	30.9%	647	60.0%	1078	51	0
	市民プール(アクアパークきらめき)	8	0.7%	63	5.9%	225	20.9%	778	72.4%	1074	55	0
	総合スポーツ公園	13	1.2%	46	4.3%	257	24.0%	753	70.4%	1069	60	0
保 健 福 祉 系 施 設	保健センター	9	0.8%	97	9.1%	419	39.2%	545	50.9%	1070	59	0
	富田林市ケアセンター	15	1.4%	35	3.3%	154	14.3%	870	81.0%	1074	55	0
	総合福祉会館	24	2.2%	22	2.0%	135	12.6%	893	83.1%	1074	55	0
	児童館	7	0.7%	19	1.8%	115	10.7%	931	86.8%	1072	57	0
	市立老人いこいの家	20	1.9%	18	1.7%	112	10.4%	926	86.1%	1076	53	0

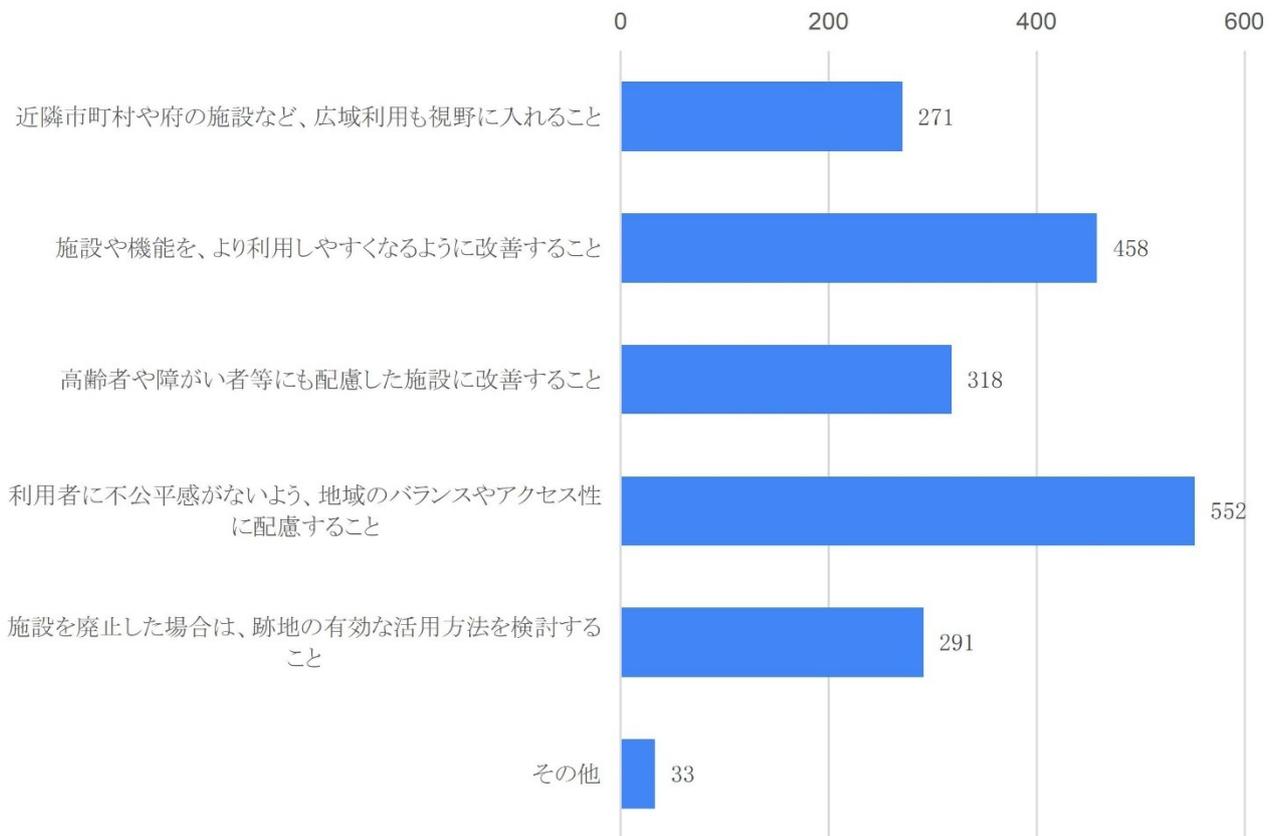
【問7】あなたは、下記の公共施設（前問で利用状況を回答いただいた施設）の数や規模は適切であると思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。



施設名	過剰である		やや多い		適切である		やや少ない		不足している		わからない		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
市民文化系施設	44	4.0%	147	13.4%	462	42.1%	80	7.3%	36	3.3%	329	30.0%	1098
図書館	3	0.3%	14	1.3%	577	52.2%	187	16.9%	131	11.8%	194	17.5%	1106
レクリエーション・観光施設	16	1.5%	35	3.2%	408	37.0%	208	18.9%	148	13.4%	288	26.1%	1103
スポーツ施設	16	1.4%	45	4.1%	470	42.4%	160	14.4%	123	11.1%	294	26.5%	1108
保健福祉系施設	28	2.5%	59	5.3%	498	44.9%	119	10.7%	66	5.9%	340	30.6%	1110

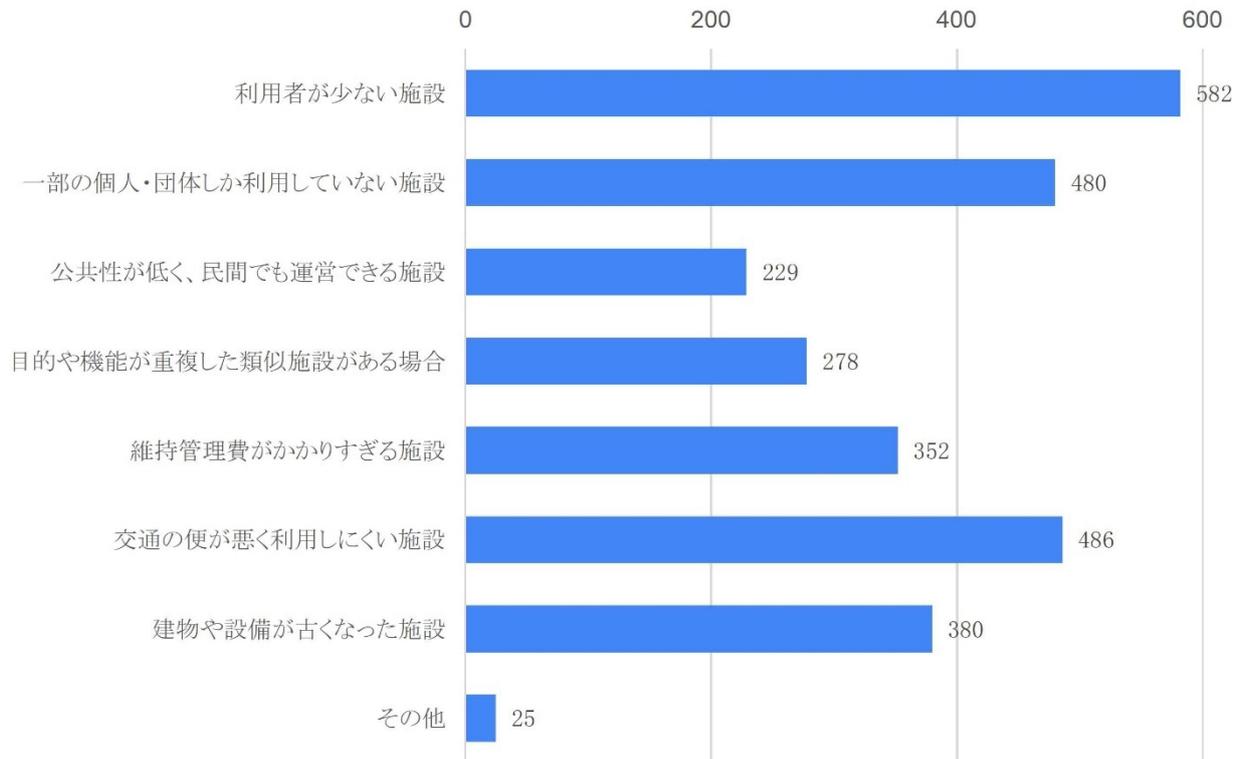
【問8】 公共施設の複合化(異なった用途の施設を統合すること)・集約化(同じ用途の施設を統合すること)等による施設の総量・配置の最適化を進めるにあたり、特に考慮することが必要だと思いますか。

以下の中から2つまで選択してください。



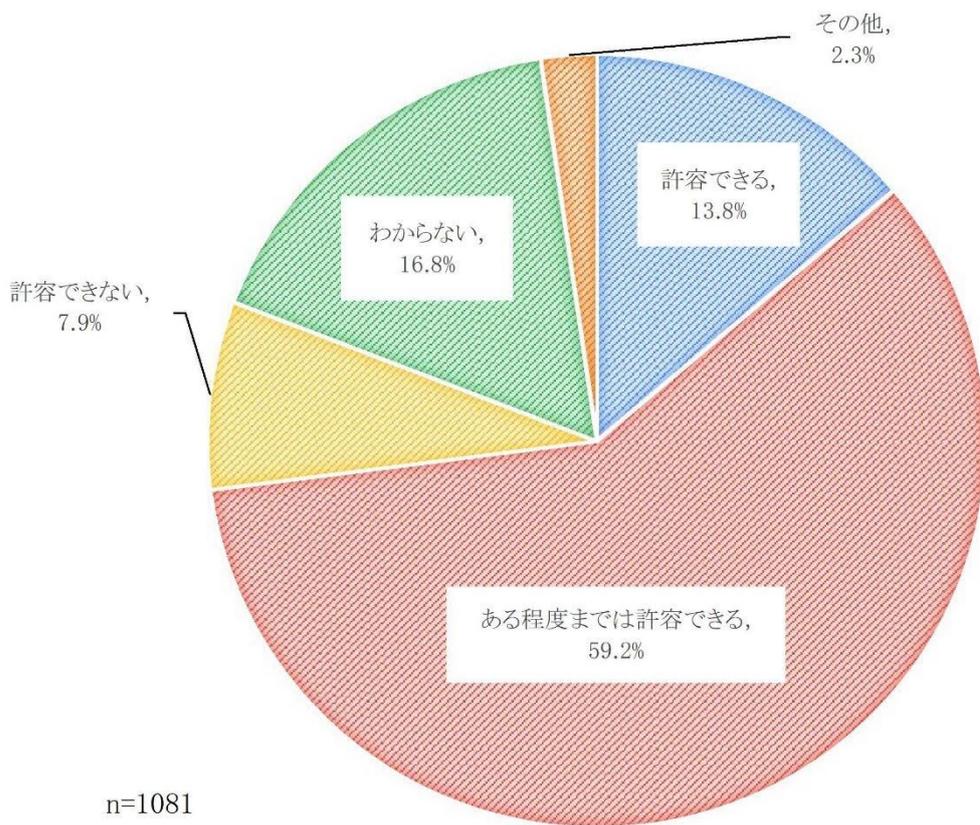
選択肢		回答数	割合
1	近隣市町村や府の施設など、広域利用も視野に入れること	271	14.1%
2	施設や機能を、より利用しやすくなるように改善すること	458	23.8%
3	高齢者や障がい者等にも配慮した施設に改善すること	318	16.5%
4	利用者に不公平感がないよう、地域のバランスやアクセス性に配慮すること	552	28.7%
5	施設を廃止した場合は、跡地の有効な活用方法を検討すること	291	15.1%
6	その他	33	1.7%
有効回答数		1,923	100.0%
回答無し		60	-
合計		1,129	-

【問9】 公共施設の複合化・集約化等を進めるにあたり、その対象としてもよいと思われる施設について、  
 あてはまるものを3つまで選択してください。



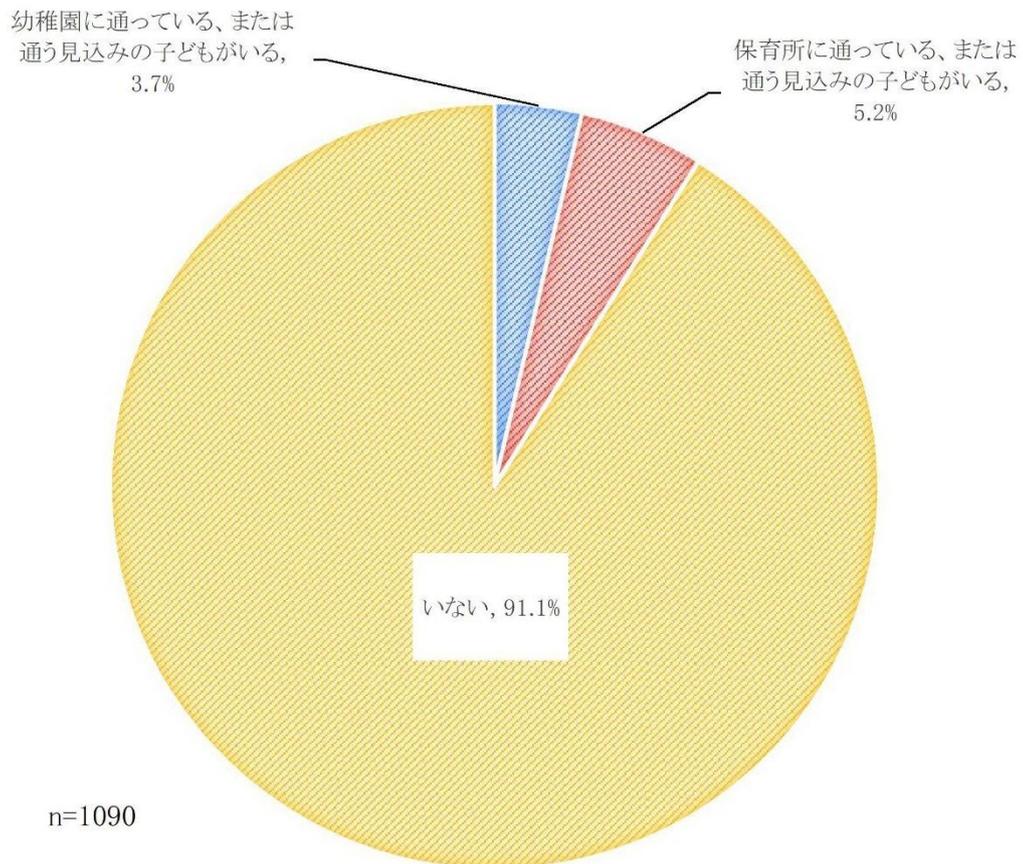
選択肢		回答数	割合
1	利用者が少ない施設	582	20.7%
2	一部の個人・団体しか利用していない施設	480	17.1%
3	公共性が低く、民間でも運営できる施設	229	8.1%
4	目的や機能が重複した類似施設がある場合	278	9.9%
5	維持管理費がかかりすぎる施設	352	12.5%
6	交通の便が悪く利用しにくい施設	486	17.3%
7	建物や設備が古くなった施設	380	13.5%
8	その他	25	0.9%
有効回答数		2,812	100.0%
回答無し		53	-
合計		1,129	-

【問10】 複合化・集約化等により施設が遠くなったり、スペースが狭くなったり、利用できる回数が少なくなったりすることも考えられます。それについて、あなたはどの程度許容できますか。  
 当てはまるものを1つ選んでください。



選択肢		回答数	割合
1	許容できる	149	13.8%
2	ある程度までは許容できる	640	59.2%
3	許容できない	85	7.9%
4	わからない	182	16.8%
5	その他	25	2.3%
有効回答数		1,081	100.0%
無回答		48	-
合計		1,129	-

【問11】 あなたのご家庭には、小学校に通う前のお子様がいらっしゃいますか。  
 当てはまるものを1つ選んでください。



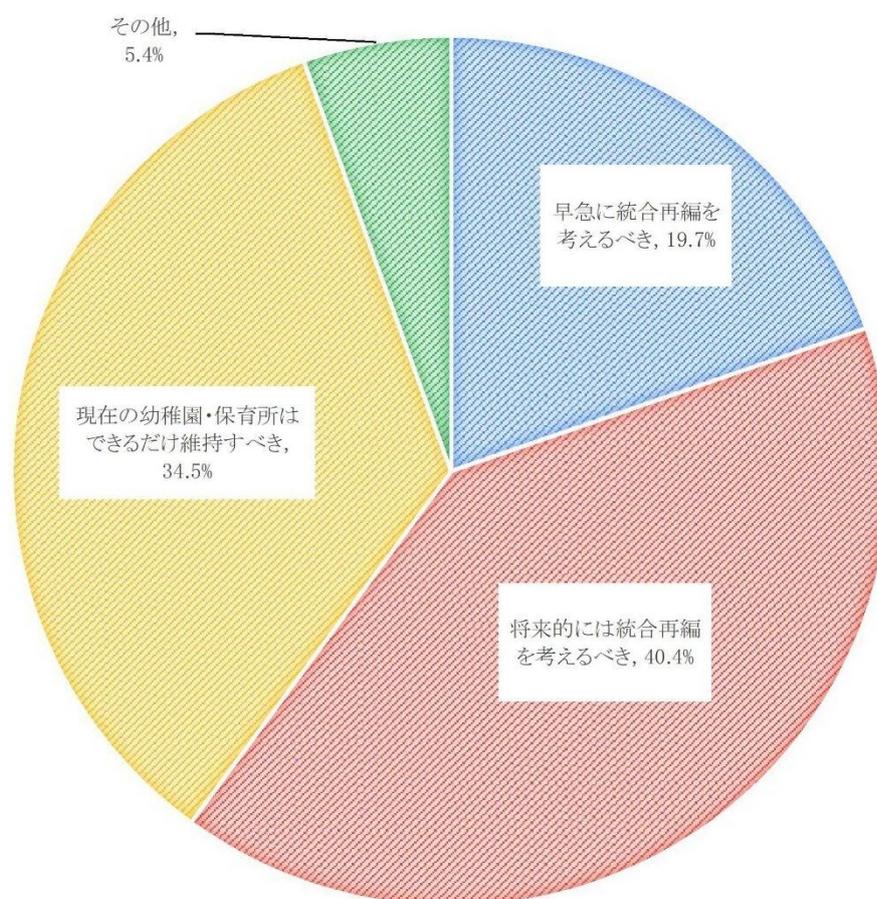
選択肢		回答数	割合
1	保育園に通っている、または通う見込みの子どもがいる	40	3.7%
2	保育所に通っている、または通う見込みの子どもがいる	57	5.2%
3	いない	993	91.1%
有効回答数		1,090	100.0%
無回答		39	-
合計		1,129	-

【問12】近年、少子化による幼稚園の小規模化が進むなか、幼児教育における集団規模の確保や、保育の受け皿の拡充、保護者の就労状況に縛られない柔軟な保育サービスなど、子育て支援におけるニーズが多様化し、幼稚園・保育所から認定こども園（※下を参照）へ移行する自治体が増えています。

認定こども園の設置を含め、現在の幼稚園・保育所を統合再編することについてどう考えますか。

当てはまるものを1つ選んでください。

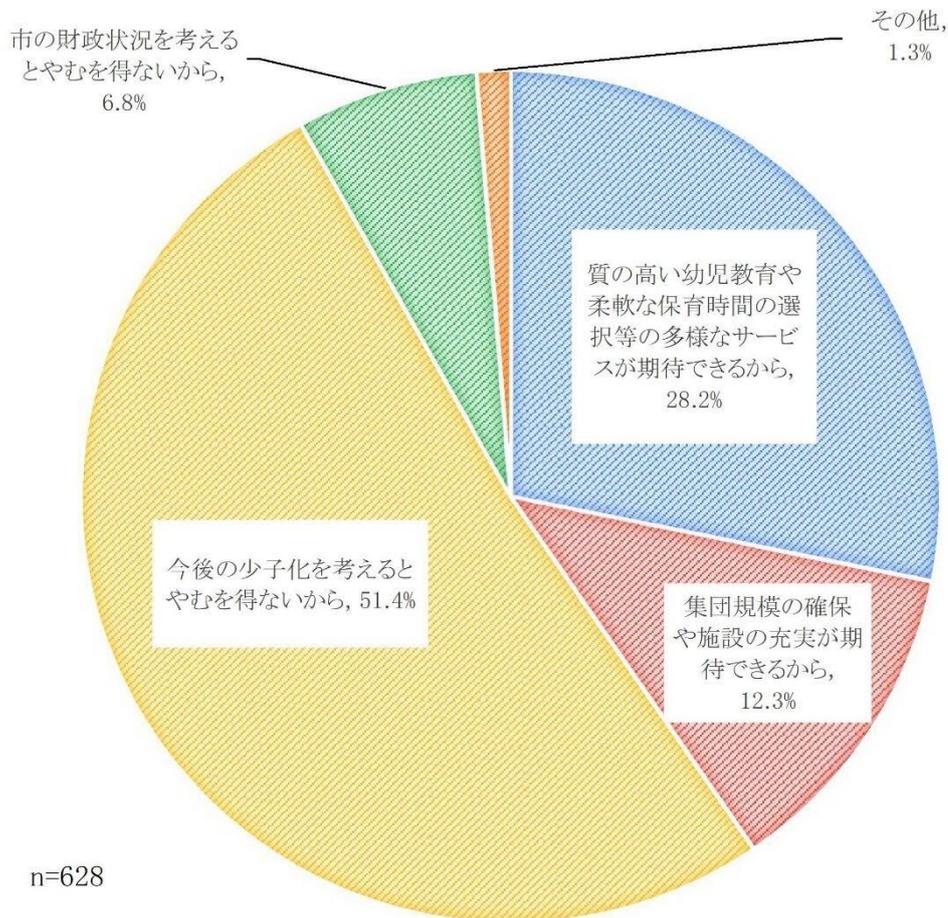
※ 認定こども園とは 教育と保育を一体的に行う施設。就学前の子どもに幼児教育・保育を提供する機能や、地域における子育て支援を行う機能を備え、幼稚園と保育所の良さをあわせ持つとされています。



選択肢		回答数	割合
1	早急に統合再編を考えるべき	206	19.7%
2	将来的には統合再編を考えるべき	423	40.4%
3	現在の幼稚園・保育所はできるだけ維持すべき	361	34.5%
4	その他	57	5.4%
有効回答数		1,047	100.0%
無回答		82	-
合計		1,129	-

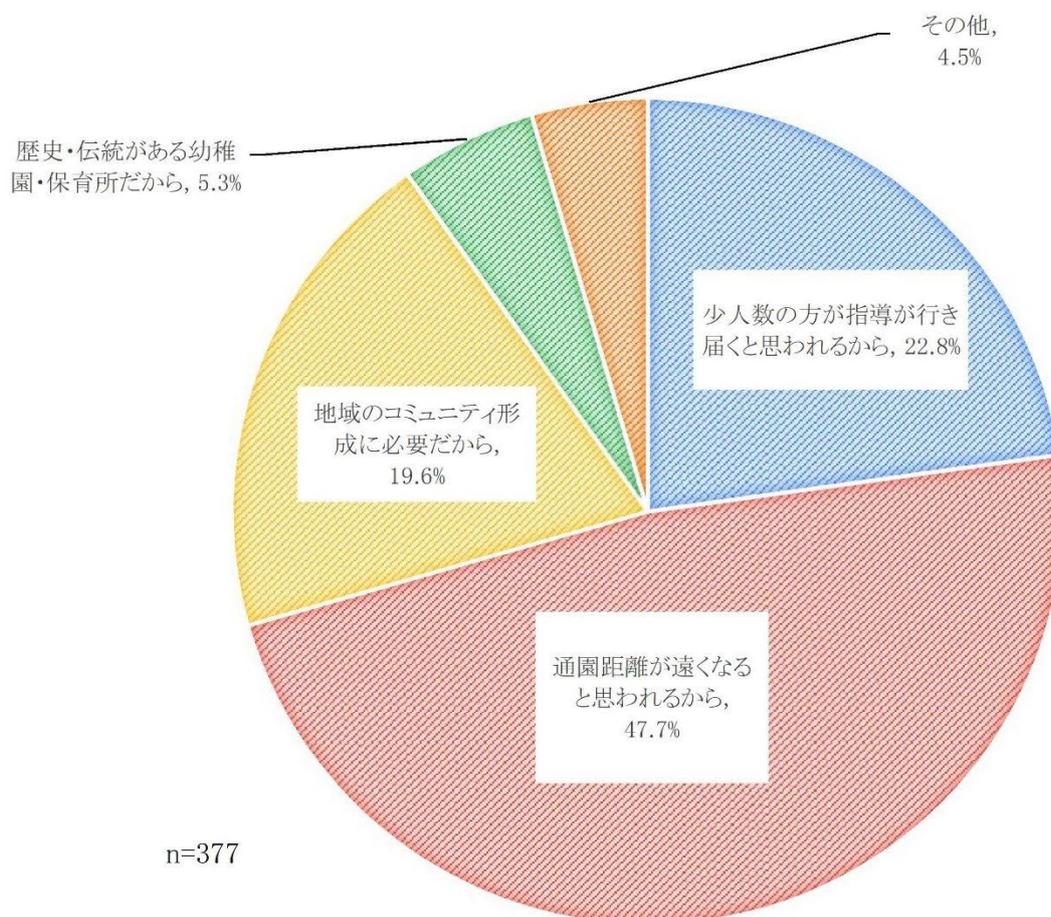
【問13】 問12の質問で「統合再編を考えるべき」とお答えになった理由はどのようなことですか。

最も当てはまるものを1つ選んでください。  
(問14は回答不要です。次は問15へ進みます。)



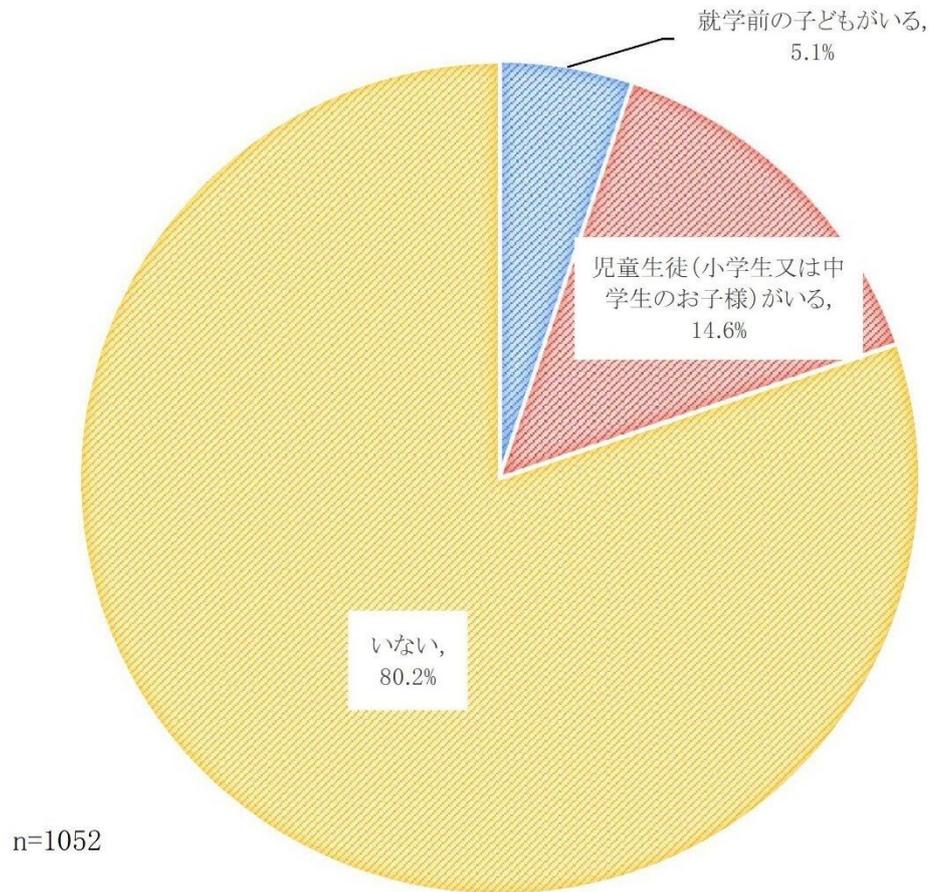
選択肢		回答数	割合
1	質の高い幼児教育や柔軟な保育時間の選択等の多様なサービスが期待できるから	177	28.2%
2	集団規模の確保や施設の充実が期待できるから	77	12.3%
3	今後の少子化を考えるとやむを得ないから	323	51.4%
4	市の財政状況を考えるとやむを得ないから	43	6.8%
5	その他	8	1.3%
有効回答数		628	100.0%
無回答		83	-
合計		711	-

【問14】 問12の質問で「できるだけ維持すべき」とお答えになった理由はどのようなことですか。  
最も当てはまるものを1つ選んでください。



選択肢		回答数	割合
1	少人数の方が指導が行き届くと思われるから	86	22.8%
2	通園距離が遠くなると思われるから	180	47.7%
3	地域のコミュニティ形成に必要だから	74	19.6%
4	歴史・伝統がある幼稚園・保育所だから	20	5.3%
5	その他	17	4.5%
有効回答数		377	100.0%
無回答		583	-
合計		960	-

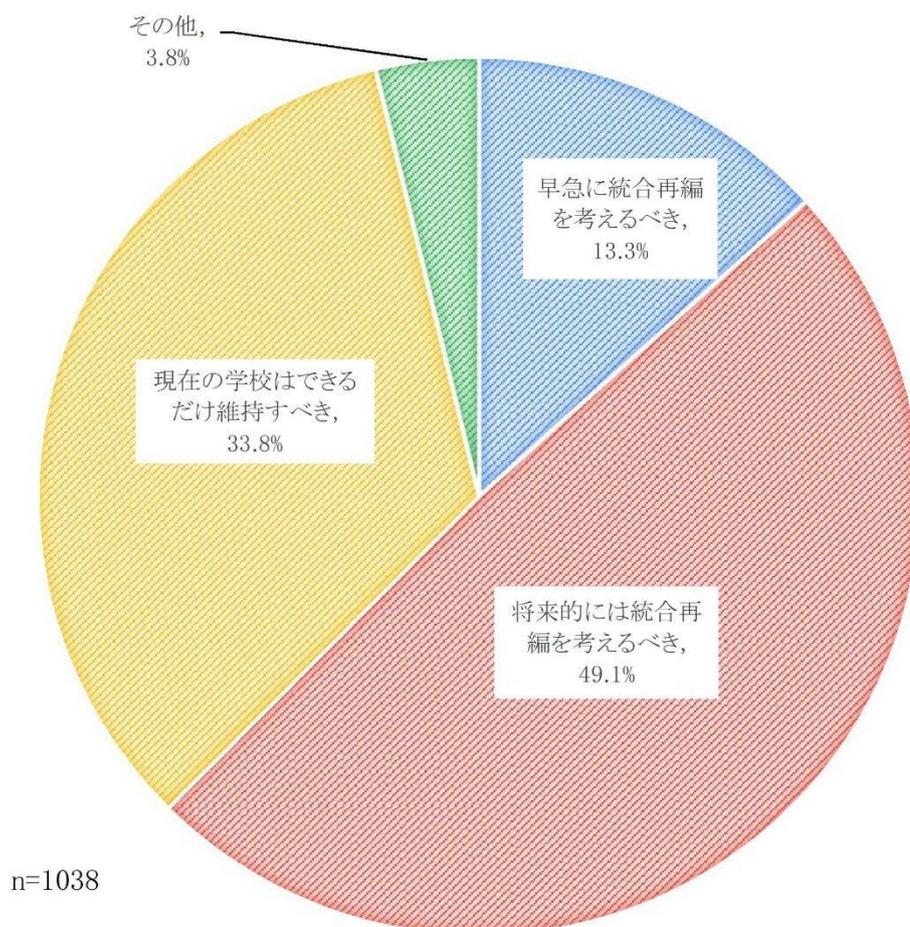
【問15】 あなたのご家庭には、児童生徒がいらっしゃいますか。  
当てはまるものを1つ選んでください。



選択肢		回答数	割合
1	就学前の子どもがいる	54	5.1%
2	児童生徒(小学生又は中学生のお子様)がいる	154	14.6%
3	いない	844	80.2%
有効回答数		1,052	100.0%
無回答		77	-
合計		1,129	-

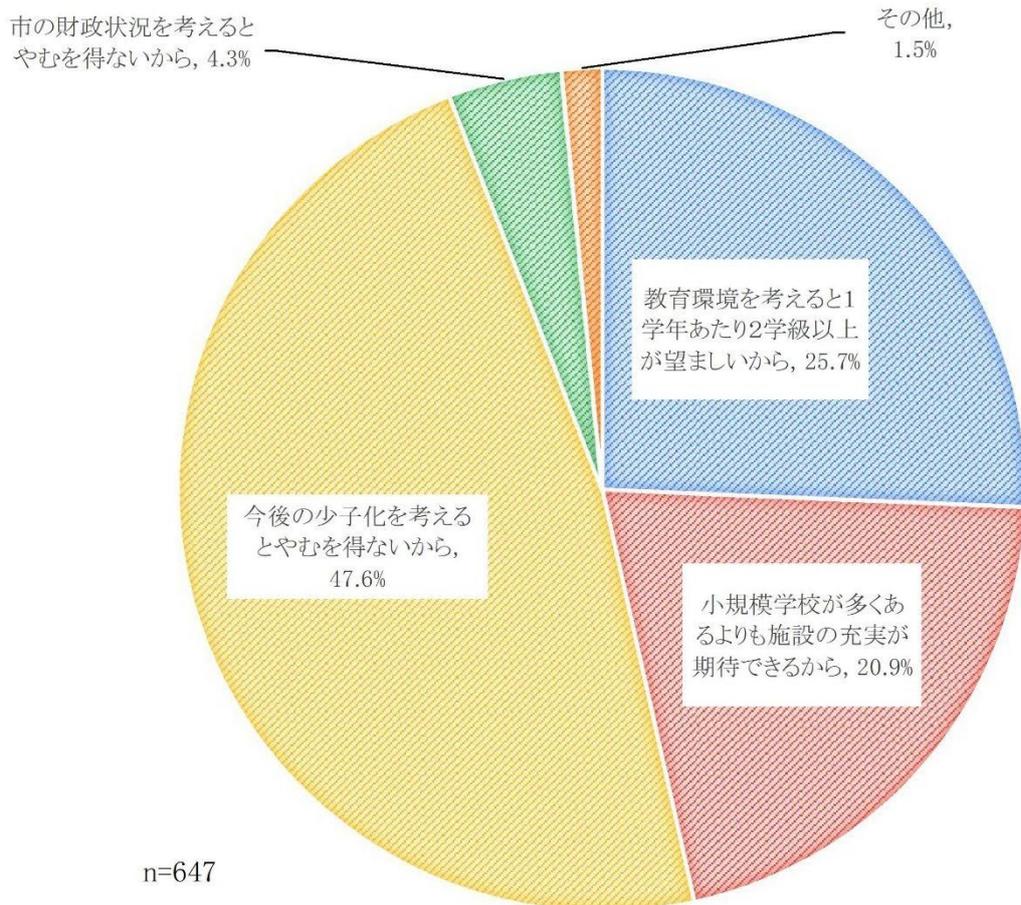
【問16】 学校教育では、児童生徒が集団の中でのふれあい、協力、切磋琢磨等を通じてひとり1人の資質や能力を伸ばすことが重要であることから、一定の集団規模の確保が望まれます。

近年、少子化による学校の小規模化が進んでいることから、将来的に小中学校の統合再編が課題となってきます。小中学校の統合再編についてどう考えますか。当てはまるものを1つ選んでください。



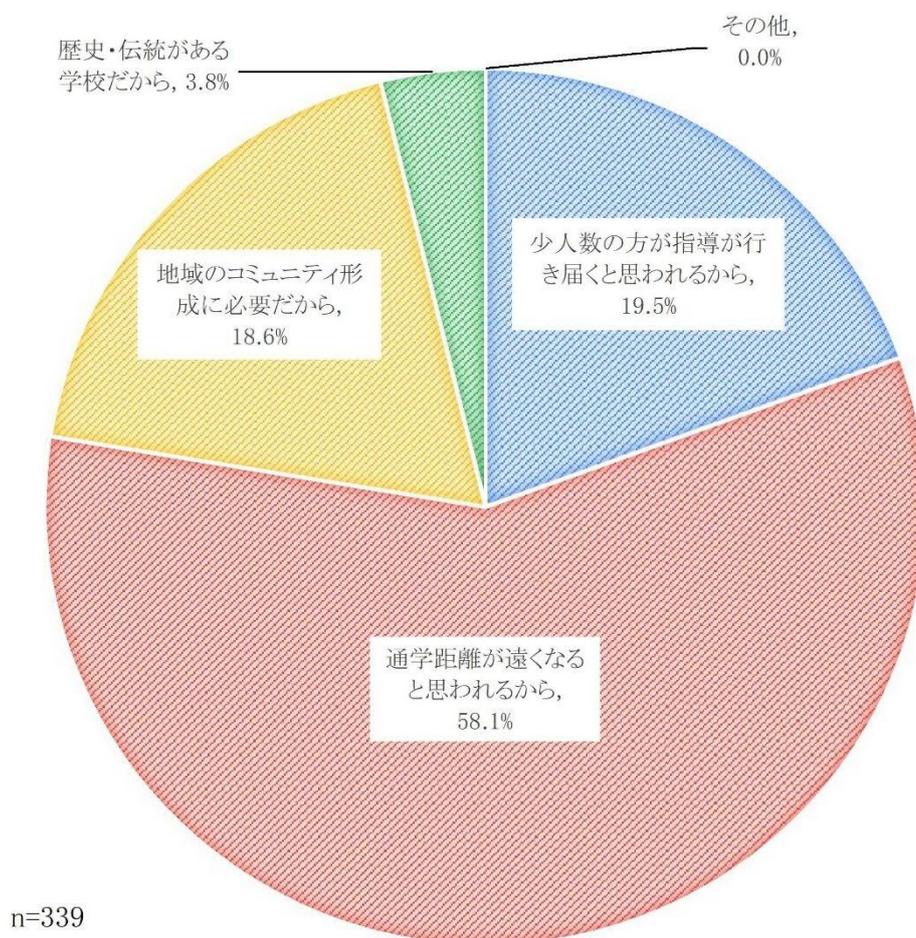
選択肢	回答数	割合
1 早急に統合再編を考えるべき	138	13.3%
2 将来的には統合再編を考えるべき	510	49.1%
3 現在の学校はできるだけ維持すべき	351	33.8%
4 その他	39	3.8%
有効回答数	1,038	100.0%
無回答	91	-
合計	1,129	-

【問17】 問16の質問で「統合再編を考えるべき」とお答えになった理由はどのようなことですか。  
 最も当てはまるものを1つ選んでください。  
 (問18は回答不要です。次は問19へ進みます。)



選択肢		回答数	割合
1	教育環境を考えると1学年あたり2学級以上が望ましいから	166	25.7%
2	小規模学校が多くあるよりも施設の充実が期待できるから	135	20.9%
3	今後の少子化を考えるとやむを得ないから	308	47.6%
4	市の財政状況を考えるとやむを得ないから	28	4.3%
5	その他	10	1.5%
有効回答数		647	100.0%
無回答		92	-
合計		739	-

【問18】 問16の質問で「できるだけ維持すべき」とお答えになった理由はどのようなことですか。  
最も当てはまるものを1つ選んでください。



選択肢		回答数	割合
1	少人数の方が指導が行き届くと思われるから	66	19.5%
2	通学距離が遠くなると思われるから	197	58.1%
3	地域のコミュニティ形成に必要なから	63	18.6%
4	歴史・伝統がある学校だから	13	3.8%
5	その他	0	0.0%
有効回答数		339	100.0%
無回答		11	-
合計		350	-

### 3. 用語解説

用語	解説
改修	建物や構造物の一部を、必要とされる機能に応じて部分的に新しく作り変えることです。
合築	利用目的の異なる施設を複合化することをいいます。施設用地を効率的に活用することができ、個別に建設するよりも床面積の縮小を期待できます。
官民連携	公共施設の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う様々な手法のことをいいます。
帰宅困難者支援施設	災害により公共交通機関等が停止し、自力で帰宅できない帰宅困難者に対して、情報提供やトイレの提供等の支援を行うための施設をいいます。
機能統合	異なる施設にある主な機能や役割において、重複するものどうしを統合することをいいます。
減築	建物の改築等により床面積を減らすことを指します。一般的に「増築」の対義語として使われます。
広域連携	異なる自治体にある施設で、必要とする主な機能が重複する場合、維持管理や運営等について、複数の自治体が連携して行うことをいいます。
公共施設等総合管理計画	長期的視点をもって公共施設等の更新・統廃合・長寿命化等を計画的に行うことにより財政負担を軽減・平準化するとともに、その最適な配置を実現させることを目的として、平成26年に総務省が各地方公共団体へ策定を要請したものです。
公共施設マネジメント	保有又は管理する公共施設について、市民ニーズや人口動態等を踏まえた施設の運営状況、利用状況、老朽度やコスト等総合的に把握し、最適な保有量の検討、維持管理の適切化、有効活用の実践、効果の検証を的確に行い、財政運営と連動しながら、総合的な視点から管理・活用していくことをいいます。
施設分離型小中一貫校	複数の校舎又は個別の敷地にある校舎を活用して小中一貫教育を行う小学校及び中学校をいいます。
指定管理者制度	地方自治体と法人やその他の団体との協定により、公の施設の管理・運営を委任することができる制度です。
寺内町	中世から近世初期において成立した浄土真宗の寺院を中心に堀や土塁で防御した自治都市をいいます。
修繕	日常的な維持管理の中で、破損や劣化により不具合を生じている箇所を修理等により、元の状態に戻すことです。
小中一貫教育	小学校と中学校の教育内容や指導方法の違いによる段差（ギャップ）を軽減するとともに、9年間を見通したカリキュラムにより、確かな学力をはじめ、これからの時代に求められる資質・能力を育成することをめざす系統的な教育の取り組みです。

用語	解説
浸水想定区域	河川の氾濫(はんらん)により、建物等が水につかる浸水が想定される区域です。
耐震補強	建物の耐震性を向上させることをいいます。建物の主要な構造である基礎・土台、柱、梁、床、壁、天井において対策を施します。
長寿命化	公共施設等の定期的な施設点検を実施し、損傷が拡大する前に適切な処置を行うことで、構造・設備・機能等の耐久性を高め、公共施設等をできるだけ長く利用する手法のことです。
伝統的建造物群保存地区	文化財保護法に掲げられる文化財の一つで、伝統的建造物群及びこれと一体をなしてその価値を形成している環境を保存するため市町村が定める地区をいいます。富田林市においては、富田林町周辺の寺内町が指定されています。
土砂災害警戒区域	土砂災害が発生した場合、住民の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、土砂災害防止法に基づき指定されます。
土砂災害特別警戒区域	土砂災害警戒区域のうち、土砂災害が発生した場合、建築物に損壊が生じ住民の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、土砂災害防止法に基づき指定されます。
延床面積	建築物の各階の床面積を合計した面積のことをいいます。
費用対効果	施策や事業等にかけた費用に対して、どの程度の効果が得られたかを表す言葉です。
福祉避難所	災害等による避難後の生活において特に配慮を要する人が、相談や介護・医療的ケア等の必要な生活支援が受けられる等、安心して生活ができる体制を整備した二次的な避難所のことです。本市ではケアセンター「けあぱる」、コミュニティセンター「かがりの郷」、総合福祉会館の3施設を指定しています。
余裕教室	小学校及び中学校施設において、将来とも恒久的に余裕になると見込まれる普通教室をいいます。
ライフサイクルコスト	建物の建設から解体までの期間にかかる総費用であり、主に建設費(イニシャルコスト)、維持・管理費(ランニングコスト)及び、解体費までを含んだ費用をいいます。
6次産業	1次産業(農林漁業)と、2次産業(製造業)、3次産業(小売業等の事業)との総合的かつ一体的な推進を図ることにより、農山漁村の豊かな地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取り組みです。

**富田林市公共施設再配置計画  
（前期）  
令和7年3月 改定**

〒584-8511 富田林市常盤町1番1号  
電話 0721-25-1000  
[http : //www.city.tondabayashi.lg.jp](http://www.city.tondabayashi.lg.jp)